

# 1月の新着本

## 1月 11日(土) 貸し出し開始

【一般図書】

おまえの罪を自白しろ	真保 裕一	総理がらみの疑惑の渦中にある代議士の孫が誘拐された!犯人の要求は前代未聞——「罪の自白」。 政界に激震が広がる中、代議士と家族の戦いが始まる!
<b>[今月のスタッフおすすめ本]</b> 暮らし・行事・ハレの日を結ぶ・水引レシピ	田中 杏奈	今、幅広い年代の女性から人気を集めている水引。本書は日々の暮らしに取り入れたい水引をはじめ、日本の伝統行事や結婚式などのお祝い事に結びたい水引までをまとめた一冊です。
ムゲンの i (上)(下)	知念 実希人	若き女医は不思議な出会いに導かれ、人智を超える奇病と事件に挑む。眠りから醒めない四人の患者、猟奇的連続殺人、少年Xの正体——すべては繋がり、世界は一変する。
ツナグ 想い人の心得	辻村 深月	もう一度だけ亡くなったあの人に会えるとしたら、あなたは何を伝えますか? 死者との再会を叶える使者「ツナグ」。長年務めを果たした最愛の祖母から歩美は使者としての役目を引き継いだ。
日常にひそむうつくしい数学	富島 佑允	自然界から人間が創造したものまで身の回りにある様々な「不思議」「うつくしい」「おもしろい」の謎。 本書では、そこに隠された法則を、数学を使って解き明かす。
信長を操り、見限った男 光秀	乃至 政彦	本能寺の変の動機も闇の中…。だが、真偽入り混じる史料を一から精査しなおし、大胆にして繊細に推理を深化させることで、光秀と信長の、あまりに意外な人間像が見えてきた。謎に満ちた二人の関係を、エキサイティングに解明!
夢見る帝国図書館	中島 京子	本がわれらを自由にする。明治に出来た日本初の図書館と戦後を生きた喜和子さん。ふたつの物語は平成でひとつに—
日本のヤバい女の子 静かなる抵抗	原田 有彩	引きこもっていたのに働かされるアマテラスオオミカミ、妊娠したら男に「俺の子?」と疑われるコノハナノサクヤヒメ、恋人と引き離されて石化する松浦佐用(まつらさよ)姫。見知らぬ男にさらわれる絵姿女房。
ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ブレイディーみかこ	大人の凝り固まった常識を、子どもたちは軽く飛び越えていく。 世界の縮図のような「元・底辺中学校」での日常を描く、落涙必至の等身大ノンフィクション。
また明日	群 ようこ	昭和30年代～平成の終わりまで、ささやかなようできて、いろいろあった人生を生きてきた5人の物語。誰もが自分の半生を投影できる、「普通の人」を描き続けてきた群ようこ、真骨頂の感動長篇。

☆ NHKテレビテキスト「きょうの料理 1月号」は閲覧できます。

☆ 児童図書・絵本は、別途掲示しています。

なお、2月新着本貸出日(2月8日)から貸出いたします。

